



## ふじのくにの“みちづくり”にさまざまな意見を活かします！

### 「みち～満ち・充ちミーティング」を開催しました。

袋井土木事務所では、地域の皆さんや道路利用者の視点に立った“みちづくり”を進めるため、県民の皆さんとの意見交換の場となる「みち～満ち・充ちミーティング」を毎年開催しています。

今年度も、11月25日(火)に磐田青年会議所構成員など約20名に出席いただき、道路のあり方などについて意見交換を行いました。



県の道路整備計画  
「ふじのくにの“みちづくり”」《志太榛原・中東遠地域》  
を周知し、多様なニーズを把握しました。



当日は、4班に分かれてワークショップ形式による意見交換を行い、各班の代表が意見を発表しました。

### ～出席者から出された意見～

- ・県道や市道が十分活用されない。国道の渋滞緩和のため、積極的な広報が必要である。
- ・東西方向の道路は充実しているが、南北方向の5市町が合併したため、旧市町間をつなぐ縦道の必要性を感じる。更に、長い縦道の途中に道の駅があれば素晴らしい。
- ・茶畑の中の道など、シンボリックな道路整備はまちづくりにも役に立つ。
- ・避難路がどの道路なのか、一般にはわからない。大規模災害に備え、避難路である旨の看板を設置できないか。
- ・サイクリングイベント時のアンケートによると、約7割が市内の道路を走りやすいと答えており、道路の整備が着実に進んでいると感じている。
- ・ゲリラ豪雨に備え、水はけのよい道路(排水・透水性舗装)整備を進めてほしい。
- ・歩行者を滞留させる場所として、ジュビロードを活用したオープンカフェなどができないか。
- ・観光と健康をテーマに、安全なみちづくりを進めてほしい。